



しんちゃくとしょあんない 新着図書案内

2021.12
松阪商業高校図書館

借りましたままになっている本は返却を!

ふゆやす とくべつかしだし
冬休み特別貸出がはじまります!

12/13(月) ~ 12/24(金) に借りました本
→ 返却日 1/12(水) まで



さっすうせいげん なんさつ よ
冊数制限なし!何冊でも読めるだけ



ふゆやす へいかん
冬休み中は閉館します。

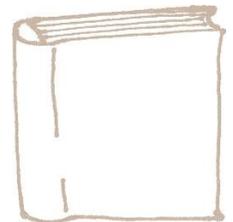
しんちゃくとしょ 新着図書から

※本の表紙の画像は OpenBD より



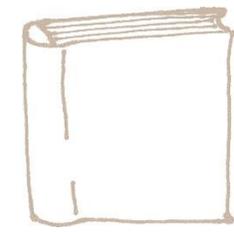
図書館利用者さんからの、覚え違いタイトルをまとめ、司書が導き出した正解を、クイズ形式で紹介した本。図書館システムでの検索のコツや、本の紹介本としての側面もあります。クイズ感覚でチャレンジしてみませんか?

「100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集」
福井県立図書館編、講談社、2021



「素晴らしきお菓子缶の世界」
中田ぶう著、光文社、2021

お菓子缶には、心躍るデザインのものが多いです。名店のもの、日本で買える外国のものなど。ところで、缶=カンカンって関西特有の言い回しだそうです。知っていましたか?



大谷選手が日本にいた頃に出版された、メッセージ集です。毎日の小さな決断、大きな目標についての120の思考が紹介されています。最近の様子は、雑誌コーナーにある「Number」でよく特集が組まれています。

「不可能を可能にする大谷翔平 120の思考」
大谷翔平著、ぴあ、2017



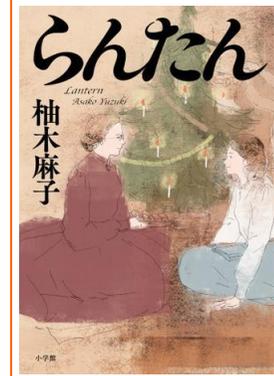
医者であり、作家である『スマホ脳』のハンセン教授の日本語訳。スウェーデンの小中学生に読まれているという本書は、運動が、子どもや若者の脳にどのような影響を与えるかという知識を紹介しています。

「最強脳『スマホ脳』ハンセン先生の特別授業」
アンテシュ・ハンセン著、久山葉子訳
新潮社、2021



日常に潜む事柄を、数学的な考え方で解決する方法が学べます。「なるほど!」と思うこと間違いなし。オールカラーの写真やイラストをながめて、解説を読むという読み方もできます。

「解きたくなる数学」
佐藤雅彦[ほか]著、岩波書店、2021



明治、大正、昭和と駆け抜ける、大河ドラマのような長編小説。女子学校教育の黎明期をえがいています。シスターフッドの契りを結んだ、ゆりと道。ふたりの女性が世界を変えていきます。

「らんたん」
柚木麻子著、小学館、2021



絵本や物語、文化史の本など
いろいろ並べています。

とくしゅう かんれんほん
特集 <クリスマス関連本>